

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 Good at		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	児童数44人	(回答数) 19施設(同一施設は1回答)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人の様子を丁寧に見取り、状況に応じた支援や助言を行っていること	訪問先でのご本人の行動だけでなく、その前後の状況や周囲との関わり、環境等も含めて丁寧に見取り、支援の記録やアセスメントに活かしています。また、必要に応じて標準化された評価尺度も活用しながら、ご本人の状況を整理しています。訪問先施設からの相談に対しては、現場の状況を踏まえながら具体的な支援方法を相談、提案しています。	研修や事例検討、自己研鑽を継続するとともに、日々の行動観察や必要に応じた評価尺度の活用を通して、ご本人の状況を多角的に捉え、支援や助言の根拠を分かりやすく伝えられるよう取り組んでいきます。
2	保護者や訪問先施設と丁寧に関わり、家庭と訪問先施設をつなぐ役割を担っていること	訪問支援後は、ご本人の様子や支援内容について訪問先施設と振り返りや情報共有を行い、ご本人の様子や支援内容について保護者様へ報告するとともに、必要に応じて電話や対面でも情報共有を行っています。また、訪問先施設の先生方から伺ったお話についても保護者様へ共有し、ご家庭と訪問先施設の双方で共通理解を持てるよう努めています。就学等の移行時にも、関係機関と支援内容やご本人の様子について情報共有を行っています。必要に応じて関係機関とも情報共有を行っています。	今後も、保護者様、訪問先施設、相談支援事業所や療育施設等の関係機関との情報共有を丁寧に行い、それぞれの立場やご意向を大切にしながら、ご本人を中心とした支援の方向性を共有できるよう連携を深めていきます。
3	ご本人や保護者様、訪問先施設の意向を踏まえ、支援計画の作成・モニタリングを行っていること	ご本人や保護者様の意向を丁寧に向うとともに、訪問先施設の先生方からもご意見を伺い、個別支援計画の作成や見直しに反映しています。計画を修正した際には、変更した内容について保護者様へ説明し、支援の方向性を共有しています。	今後も、ご本人の状況や支援の経過を継続して確認し、保護者様や訪問先施設のご意向を踏まえながら、必要に応じて個別支援計画を見直し、実際の支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に関する研修等の機会が限られていること	個別の相談援助や情報提供を行い、専門職が研修形式で情報提供を行った機会もありますが、家族支援プログラムやご家族が参加できる研修等を継続的に実施するには至っていません。保護者評価でも、この項目について「わからない」との回答が多く見られました。	保護者様のニーズを把握しながら、個別の相談援助や情報提供を継続するとともに、専門職の知識を活かした情報提供や、ご家族が参加できる研修等の機会について検討していきます。
2	利用希望に対して十分な受入れ体制を確保することが難しいこと	昨年度よりスタッフを2名増員し、受入れ体制の充実を図ってきましたが、現在も既存の利用者様への訪問支援や支援の質を維持しながら、新たな利用希望に十分対応することが難しく、複数の方にお待ちいただいている状況があります。	現在の支援の質を維持することを大切にしながら、職員体制や業務の進め方を見直し、受入れ体制の充実に向けて検討していきます。
3	事業所の取組や支援に関する情報を、より分かりやすく発信していくこと	安全計画に基づいた情報提供や支援グッズの紹介等を一斉LINEで行い、ホームページでも事業所の情報を発信しています。一方で、保護者評価では、教員教材や事業所からの情報発信等について「わからない」との回答も見られました。	今後も一斉LINEやホームページ等を活用し、安全に関する情報や支援グッズ、教員教材、事業所の取組等について、保護者様に分かりやすくお伝えする機会を増やしていきます。